

3月豊橋市議会夜聴記

⑩

地方政治 クリエイト 伊藤 秀昭

を示していないか。

■創生戦略
鈴木義則氏(公明)は、新年度予算に56・1億円余の地方創生関連予算と68施策が示されていることから、地方創生の取り組みについて聞いた。

特に国勢調査の速報値で初めて総人口が減った深刻な状況を問題視した。
企画部長は「今からならまだ間に合うという思いと長期的戦略で全市を挙げて人口減少に取り組み」とし、「そのための風土の醸成に努める」との抽象的な答弁こそ危機感の欠如

のは中西光江氏(共産)。
正論である。誰が反論できるだろうか。

奈良県平群町では町長が「子ども医療費助成を高校卒業までに拡充する」との大英断の答弁が伝わってきたが、子ども未来部長の「財源が

創生戦略に真正面から議論した五期の鈴木氏の姿勢は評価できるも、持ち時間を6割も残して降壇したのはいかがか。

「現在、通院費は小6まで、入院費は中3まで無料化になっていますが、中学生の通院費は二分の一が本人負担になっています。これは県内でも8市町村のみです。市長、思い切った子育て支援策で中学生の通院費無料化に取り組みべきです」と精いっぱい思いで市長に迫った

「などとの答弁には、がっかり。
給食費の無料化についても政府の経済財政諮問会議で、民間議員が子育て支援の強化に向けて提言とのニュースも流れている。この質問に盛んに野次っていた議員諸氏よ、恥ずか

しくないか。どこを向いて議員をやっているのだろうか。

■教科書検定
寺本泰之氏(紘基会)は、教科書検定に際し文科省の調査結果では愛知県内で延べ156人が該当したと報道について、その対応を聞いた。

教育長は「豊橋の教職員に該当者があれば県教委の指示に従う」と答えた。特に影響はないとした。

「豊橋には無縁の話です」ときっぱり言えない無念さが教育長の顔に出ている。

■マイナスイ金利
日本銀行のマイナ

ス金利政策について本市への財政運営への影響について質問したのは芳賀裕崇氏(まじっフォーラム)。

財務部長は「長期金利の低下は、市債の支払利息の抑制につながる。今後とも安定した資金調達に努める」と答え、会計管理者は「果実運

計管理者は「果実運

用型基金は、直近で満期を迎えるのは2年後の12月であり、特に影響はないとした。

地方債の利率が下がると借金しやすくなり、自治体の財政規律が緩みかねない面もあり、そこに警鐘を鳴らしたのはさ

すがだった。

■地域包括ケア
伊藤篤哉氏(自民)は国民一人ひとりのケアを将来にわたって持続的に実現し、その地域で人生の最

期を迎えることがで

る環境を整備していくことが、喫緊の課題であると問題提起した。

福祉部長は「限られた社会資源の有効活用や連携支援体制の実現に向け、医療・介護・行政機関が、それぞれの役割を踏まえつつ、一体となって取り組んでいく」と答えていたが、地域包括ケアの「地域」とはどこを指す

のだろうか。その地域の担い手である自治会を組み込み「チーム地域」として包括ケアを構築すべきでないか。

■薬物乱用
元プロ野球選手が起した覚せい剤事件で大きな社会問題になっている薬物乱用防止対策について取り上げたのは市原享吉氏(自民)。

健康部長は「豊橋警察管内での薬物事犯の検挙人数は年間40人前後で推移し、横ばい状況であり、若者でも入手で

きることもあり安心できない」と答えた。市原氏は薬物から立ち上がることに支援の重要性も訴えていたが、重要な指

すべきでないか。

3日間の豊橋市議会に残念なのは、豊橋市議会が威厳なき議会に成り下がっていることだ。

議長席に向かって右側、左側の若手議員たちの態度はいかがか。要の議長も議事の進行に整理する必要があるなら、休憩を取ってきちんとすべきでないか。

副議長も隣の議会議務局長と何を何度話し合っているのか。事務局長も雑談相手のために座っているのか。

11日の設楽町議会まで6議会を回ったが、豊橋市議会の節度のなさはOBとして恥ずかしい。

節度なき豊橋市議会

節度なき豊橋市議会